

～年頭のご挨拶～



大阪木材工場団地協同組合
理事長 浦本 雅史

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、大阪木材工場団地協同組合の事業運営に対して格別のご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は4月の熊本地震に始まり、夏の異常なまでの暑さに加え複数の台風による災害や10月の鳥取県中部地震の発生と続き、日本列島全体が様々な自然災害に見舞われた年であったと感じています。多くの被災者の方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、本年はこういった災害の発生が少しでも無くなれば

と念願するところでございます。

さて、私共の協同組合では、3年度に亘り最重要課題として取り組んでまいりました「汚水処理場跡地再開発工事」事業も、擁壁の築造を中心にした造成工事が完了し、新たに約400坪の有効な事業用地他が完成いたしました。この工事は事業用地の整備のみならず、落差約10mを越える傾斜地の土砂崩れ等の災害を未然に防ぐことを目的とした工事であり、その意味では、安心・安全な工場団地づくりにつながるものと考えています。

また、築後50年近くになり老朽化した共同倉庫施設の解体撤去並びに周辺用地の整備計画は、来年度から本格的に取り組むこととしており、引き続き工場団地の付加価値向上を目的とした事業を進めてまいります。

安全確保の取組みを進め、工場団地の価値をさらに高めておられます。

これらの取組みは、美原区をはじめ本市地域経済の活性化にも大きく寄与するものであり、浦本理事長をはじめ、歴代役員ならびに組合員の皆様のご努力に、心から敬意を表する次第でございます。

本市は、「もののはじまりなんでも堺」と言われるように、文化や産業において、つねに新しい時代を切り開いてきました。高い技術や新たなサービスを創造する堺の事業者には、まさに「匠のDNA」が連綿と引き継がれているものと考えております。

今後とも、ものづくりをはじめとする本市産業の持続的発展を図るため、堺市産業振興・アクションプランにもとづき、取引機会の拡大や人材の確保、成長産業分野への進出支援などに一層取り組んでまいり

本年も先のビジョンで示された「働く人の満足度が高い団地」「災害に強い団地」「次世代が輝く団地」そして「地域に貢献する団地」という四つの大きな目標の実現に向けた各種事業を実施していく所存でございますので、引き続き協同組合並びに美原団地協議会の運営に変わらぬご理解とご協力をいただくようお願い申し上げます。

結びとして、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますようにご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

ます。

どうか、組合員の皆様におかれましては、引き続き市政へのご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、本年が、皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますとともに、大阪木材工場団地協同組合ならびに組合員企業各位の益々のご繁栄を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

組合からの発信



堺市長 竹山 修身

明けましておめでとうございます。大阪木材工場団地協同組合の皆様におかれましては、新しい年の始まりを健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また旧年中は、堺市政の各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴組合は、昭和37年の設立以来、木材の加工から流通まで同業他種の様々な企業が集積した工場団地として発展し、地域経済の振興に寄与してこられました。昨年は、「2014中期ビジョン」の方針に基づき、「災害に強い団地」をめざしてBCP(事業継続計画)を策定されました。また、事業用地の整備と

